

令和7年度「創薬ベンチャーエコシステム強化事業／創薬ベンチャー公募」中間評価報告書

1. 中間評価を実施した課題

課題名	潰瘍性大腸炎治療薬 MGT-006 の開発
研究開発機関	メタジェンセラピューティクス株式会社
リード認定 VC	JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

2. 本課題の概要

腸内細菌叢移植（FMT）は、健常ドナーの便由来の腸内細菌を患者に移植する治療法である。潰瘍性大腸炎（UC）への経肛門的 FMT の臨床研究に関しては、メタジェンセラピューティクスの共同研究先である順天堂大学で 2014 年から実施しており、有効性及び安全性データを取得している。そのデータを活用し、同社は、FMT 医薬品である MGT-006 を UC 治療薬として開発し、世界中の患者さんに新たな治療選択肢として届けることを目指している。本課題では、非臨床試験の実施とともに健常ドナー募集から始まり GMP 製造に至るサプライチェーンの整備を進め、国内外の治験を実施して POC 取得を目指す。POC 取得後は、バリューチェーンを完成することで、MGT-006 を新規医薬品として届ける計画である。

3. 評価結果

ステージゲート通過

【評価コメント】 事業の進捗とともに資金調達も順調に進んでいる点も評価されました。対象疾患の多様性を考慮し、最適患者層選別や適切な薬価戦略などの製品価値の最適化を、今後も継続して検討ください。計画通りの進捗が認められたため、SG 通過と評価されました。

以上